

初版第2刷をご購入の方へ__お詫びと訂正(正誤表)

本書の以下の部分に誤りがありました。ここに訂正するとともに、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

下記訂正箇所を修正した最新版のダウンロードファイルを、2018年2月26日にアップロードいたしました。2月26日以前にダウンロードされた方は再度ダウンロードしてください。

(2018年2月26日最終更新)

P.120 STEP1のソースコード(4行目)訂正

誤	<code><link href="https://fonts.googleapis.com/css?family=Bitter:400;700"</code>
正	<code><link href="https://fonts.googleapis.com/css?family=Bitter:400,700"</code>

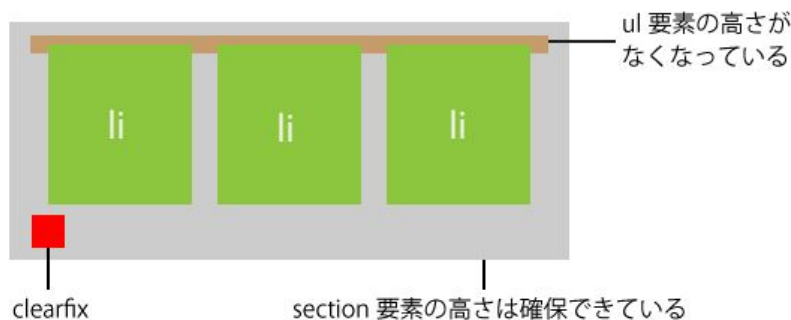
Google Fontsで生成されるコードは「;」（セミコロン）ではありません。正しくは「,」（カンマ）になります。

■ Chapter8

「photograph.html」メインエリアにおけるclearfix指定の訂正について

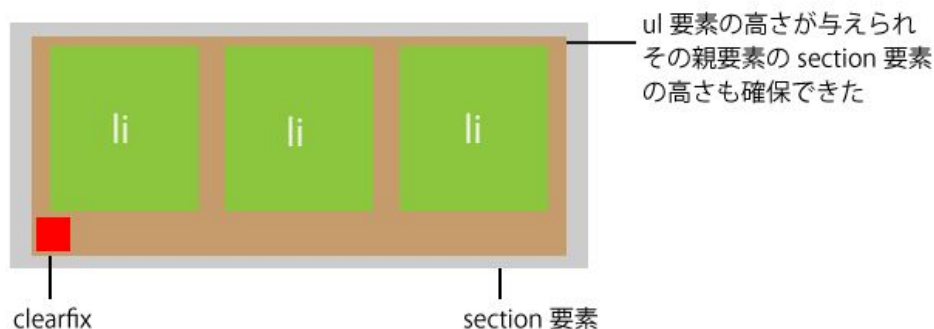
clearfixは疑似要素によってfloatを解除し親要素に高さを持たせる手法であることは、本書P.177で解説しています。それに倣えば、P.213のSTEP【3】ではliの親要素であるulにclearfixを指定すべきでしたが、P.212のSTEP【2】において祖先要素（親の親）であるsectionに指定してしまいました。

【誤】 当初のコードによる挙動



sectionの高さはclearfixにより保たれるため、見た目上の高さは確保されます。ですが先述の通りliの親要素であるulにclearfixを指定すれば、ulの高さが確保されることで祖先要素sectionの高さも確保できます。clearfixの意味としては、こちらのほうが正しい使いかたになります。

【正】 修正後のコードによる挙動



上記を踏まえ、下記のとおり訂正いたします。なお訂正表内の赤字は書籍と同じ表示で「記述を加えるコード部」です。青字が訂正箇所となります。

▼ section要素へのclearfix設定による訂正

P.212 STEP2_1つ目のセクションと見出しを作成する（本文6～8行目を削除）	
<p>(誤)</p> <p>… の設定で目じるしとなります。 また、各画像はfloatを使用して並べるため、親要素の高さがなくならないようにclass属性で「clearfix」も追加しておきます。 そして、…</p>	<p>(正)</p> <p>… の設定で目じるしとなります。 そして、…</p>
P.212 STEP2_1つ目のセクションと見出しを作成する（コード4行目）	
<p>(誤)</p> <pre><section id="city" class="clearfix"></pre>	<p>(正)</p> <pre><section id="city"></pre>

▼ ul要素へのclearfix設定

P.213 STEP3_1つ目のセクションの画像ギャラリーを作成する（本文に加える）	
<p>(本文「～を順に指定します。」に続いて右の文章を追加)</p>	<p>各画像はfloatを使用して並べるため、親要素の高さがなくならないよう、ul要素にclass属性で「clearfix」を追加しておきます。</p>
P.213 STEP3_1つ目のセクションの画像ギャラリーを作成する（コード1行と3行目）	
<p>(誤)</p> <pre><section id="city" class="clearfix"> <h2 class="icon">City</h2> </pre>	<p>(正)</p> <pre><section id="city"> <h2 class="icon">City</h2> <ul class="clearfix"></pre>

▼ ul要素へのclearfix設定にともなう訂正

P.214 STEP4__alt属性で画像の内容を記述する（本文3～4行目）	
<p>(誤)</p> <p>またul要素にclass属性で「photograph-list」という名前をつけます。</p>	<p>(正)</p> <p>またul要素のclass属性に「photograph-list」という名前を追加します。</p>
P.214 STEP4__alt属性で画像の内容を記述する（コード1行目）	
<p>(誤)</p> <pre><ul class="photograph-list"></pre>	<p>(正)</p> <pre><ul class="clearfix photograph-list"></pre>

▼上記の訂正にともなう紙面上のコード表記の訂正

P.214 STEP5_2つ目のセクションを作成する（コード1行目と3行目）	
（誤） <section id="beach" class="clearfix" > <h2 class="icon">Beach</h2> <ul class="photograph-list">	（正） <section id="beach"> <h2 class="icon">Beach</h2> <ul class="clearfix photograph-list">
P.215 STEP6_画像のパスと内容を記述する（コード1行目）	
（誤） <ul class="photograph-list">	（正） <ul class="clearfix photograph-list">
P.216 STEP7_3つ目のセクションを作成する（コード1行目と3行目）	
（誤） <section id="forest" class="clearfix" > <h2 class="icon">Forest</h2> <ul class="photograph-list">	（正） <section id="forest"> <h2 class="icon">Forest</h2> <ul class="clearfix photograph-list">

▼appendix photographページをオリジナルに改編する際のコードの訂正

P.281 ポートフォリオファイルに変更する（コード1行目と3行目）	
（誤） <section id="city" class="clearfix" > <h2 class="icon">Website</h2> <ul class="photograph-list">	（正） <section id="website"> <h2 class="icon">Website</h2> <ul class="clearfix photograph-list">

以上となります。ここまでご確認いただき、お手数をおかけしましたことを改めて深くお詫び申し上げます。

（株）技術評論社・書籍編集部
著者